

## 賛助会員

**有限会社浜野顕微鏡** (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

**株式会社ヤクルト本社研究所** (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

**神協産業株式会社** (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

**理研食品株式会社** (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

**マイクロアルジェコーポレーション株式会社** (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

**共和コンクリート工業株式会社** (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

**(株) 環境総合テクノス** (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

**(株) 日本港湾コンサルタント** (〒140-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

## ご投稿をお待ちしています

「藻類」は皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やその他の報文（記事等）のご投稿もお待ちしております。ご投稿に際しましては、投稿案内（2013年3月27日改正）をご覧ください。 (編)

### 編集後記

早いもので、本誌の編集をさせていただいて今年で3年目、つまり最終年度となりました。皆様のご協力をいただき、ここまで大きな問題も無く伝統ある和文誌藻類を発行することができております。感謝申し上げるとともに、今後とも、変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本号19ページでは北山さんによる「自然史まつり in いばらき」の報告を掲載させていただきました。その中で、野田三千代先生の海藻おしば教室の盛況ぶりが紹介されています。実は私、野田先生とはFacebookの"おともだち"で

して、つい先日海藻おしばに使う海藻の保存管理方法についてレクチャーしていただきました。高校生実習SSHや大学の臨海実習など、ことある毎に海藻おしばを実施してきましたが、海藻の色彩と造形の美しさに学生たちは感嘆の声をあげます。美しさから海藻に興味を持ってもらうためにも、野田先生の秘技奥義を伝授していただきたく、毎年開催されている勉強会に参加したいなあと思う今日この頃です。

福岡大会では、暖かな風を感じながら皆さまにお会いできますことを楽しみにしております。是非、編集に関する忌憚なきご意見をいただければ幸いです。 (鳥田 智)

**表紙** 日本藻類学会第39回福岡大会ロゴ 制作者：栗原 暁（九州大学大学院農学研究院）

**制作者より：**福岡県は三方を有明海、豊前海、玄界灘・響灘に囲まれ、古くより豊かな海の幸の恩恵を受けてきました。福岡の水産を支える有明海のノリ養殖からスサビノリ、博多湾で養殖されるワカメを合わせてロゴに配しました。